



きれいな学校 輝く笑顔 ～ナンバーワンスクールを目指して！～

# 大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関 2 8 2

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

いじめ、断じて許すまじ！

～なぜ、いじめてはならないのか。理由は「人間」だからである！～

校長 澤田純一

少しずつ寒さも増し、各地から雪の便りが聞こえてくるようになりました。本格的な冬を迎えるにあたり、健康管理に十分努めてください。本校でも風邪気味の生徒が増えました。食事、睡眠、運動など日頃から正しい生活習慣に取り組むようお願いいたします。

さて、今月の学校だよりは、気になるニュースがあったので、取り上げます。そのニュースとは「東日本大震災後、福島から避難してきた転校生がいじめにあった。」というものです。今もなお福島県外に避難し、自宅に戻れない方が 40, 405 人います。(福島県庁平成 28 年 10 月 13 日調査) もちろんこの数字の中には、小学生や中学生もいます。その方々の胸中を察するとともに、一日も早く帰郷できることを祈らざるを得ません。これから寒い冬が到来しますが、体をいたわると同時に、心の健康も保っていただきたいと願っています。もちろん、大久保中の生徒の皆さんは、私と同じ考えであることを知っています。しかし、あえて今回取り上げることで私の魂の叫びを聞いて欲しいのです。

いじめは本校でもありました。いじめに対しての本校の考え方ですが、一つ目は「どんな生徒も、いじめられてよい子はいない。」ということです。あの子は勉強ができないから、だらしがないからなどと、いじめる側はいじめる理由を述べることがあります。中には、いじめられるようなことをしている子が悪いなどと、とんでもない理屈を並べる大人も存在しました。もう一度言います。断じて、いじめられてよい人間など、この世に存在しないのです。二つ目は「たとえ 100 人相手にしても、被害者を守る。」ということです。本校の先生方は、いじめられている生徒に対し、「絶対の守護神」として対応しています。大変ありがたいことです。

少し視点を変えてみましょう。興味深い話があります。サルやイルカなど知能が高い動物の集団には「いじめ」があるそうです。体が小さいもの、体が弱っているもの、一度集団から抜けたものに対して、複数で噛みついたり、追いかけてまわしたりする行動があるそうです。サルやイルカに「いじめは許されない！」と私が言ったところで理解不能でしょう。それはそうです。相手は動物ですから。それでは、皆さんに「なぜ、いじめてはならないのか？」と問います。答えられますね？それは「私たちは人間だから」です。他者をいたわること。いじめをしないこと。これは人間が人間であることの証明であると思うのです。

福島県から転校してきた生徒に、心無い言葉を浴びせ、金品をせがみ続けるという行為はどうてい許されることではありません。大震災に遭い、家族を失い、家を失い、やっとの思いで避難してきたというのに、同じ人間のすることとは思えません。まさに「追い打ちをかける。」という卑劣極まりない行為です。そこで、もう一度皆さんと共に叫びたいのです。「がんばろう日本！がんばろう福島！」と。先日、生徒会が募金活動をしていました。そこに、募金している生徒がいました。心温まる光景でした。いつまでも、そのままの気持ちでいてください。それでは、良い年をお迎えください。一年間ありがとうございました。